

指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立東林ふれあいセンター
指定管理者名	公益財団法人 相模原市まち・みどり公社
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立ふれあいセンター条例
施設の設置目的	市民の健康の保持及び増進並びに高齢者の福祉の向上に寄与するための施設 (相模原市立ふれあいセンター条例第2条)
施設概要	所在地: 相模原市南区東林間1丁目22番17号(林間公園内) 構造: 鉄骨造2階建 建築面積: 680㎡ 延床面積: 1,245㎡
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	83,355	88,349	82,808				
利用料金合計(円)	1,882,508	1,910,045	1,644,111				

3 成果指標の達成度

指標 1							
指標名(単位)	施設利用率(夜間を除く)						
指標式と指標の説明	専用利用に係る承認件数 / 専用利用申し込み可能件数 (夜間を除く)						
項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	82%	83%	83%	84	84		
実績値(単位)	73.0%	78.0%	77.0%	-	-		
達成度(%)	89.0%	94.0%	92.8%				

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休所した期間

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の達成度は92.8%であり、評価基準により「B」評価とする。 利用率が減少した原因としては、新型コロナウイルスの影響による施設利用の自粛等が考えられるが、今後も、利用者の安全を守ることを最優先に、感染症拡大防止対策を実施しながら施設の運営に努めていただきたい。

4 事業の実施状況

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)	-	-	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
楽しくストレッチ教室	5月～6月	椅子を使用した「チェアストレッチ」を取り入れ、全身の筋肉を気持ち良く伸ばしていく。(全8回) (参加数/定員 216/280人)	
みんなで楽しむ歌の集い	5月、8月、11月	懐かしい歌から現代の歌まで、みんなで歌うことで心身ともに活性化し、仲間を増やしながらかしく歌う。(年4回開催だが、2月は新型コロナウイルス感染症対策により中止) (参加数/定員 5月:60/65人、8月:70人/65人、11月:65/65人)	
紙芝居上演(読み聞かせ)	8月	紙芝居や絵本の読み聞かせで世代間交流の場を提供。周辺地域で活動するおはなしレストランとの連携事業。 (参加数/定員 33/30人)	
花の観察ウォーキング	4月	相模原緑道緑地を東林ふれあいの森に向かって散策。東林ふれあいの森を愛する会との連携事業。 (参加数/定員 10/20人)	
映写会	8月、12月	映画などを映像で楽しみ、多世代間の交流の場を提供。(年3回開催だが、3月は休館により中止) (参加数/定員 8月:105/150人、12月:129/150人)	

評価(5評価)

評価理由・委員会意見

S

高齢者の健康を増進する事業や世代間の交流を促進する事業など、施設の設置目的に合致した事業を実施し、参加者数が多いことも非常に評価できる。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響で、歌の集いなどの事業の実施は難しい状況が続くと考えられるため、感染症拡大防止対策を踏まえた事業の実施を検討していただきたい。

5 利用者の満足度

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 実施期間:令和元年11月16日(土)～11月30日(土) 回答数:481件
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の回答割合

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	90	90	90	90			
実績値(%)	96.7	97.3	98.3	-			
達成度(%)	107.4%	108.1%	109.2%				

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ご意見箱の設置	通年	施設1階と2階にご意見箱を設置し、利用者からの意見要望等を随時受け付けている。受け付けた内容については、掲示板にて公開し、回答している。
利用団体への活動支援	通年	展示コーナー(1Fロビー)を活用し作品の発表の場を提供している。また、団体の活動内容や人員の募集など情報提供を行っている。
施設予約システムの導入	10月～	施設の空き状況をインターネットで確認できる「施設予約システム」を導入した。

評価(5評価)

評価理由・委員会意見

A

・成果指標の達成度は109.2%であり、評価基準により「A」評価とする。
・実績値98.3%のうち、「満足」と回答した割合が70.3%と多くの割合を占めたこと、また、施設予約システムを導入し、利便性の向上を図られたことは高く評価できる。今後も、利用者の意見・要望に耳を傾け、満足度の向上に努めていただきたい。

6 施設の経営状況

施設の収支概要		直近3年間について記載		
		(千円)		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入 (a)		39,448	39,481	39,796
	指定管理料	37,427	37,433	37,799
	利用料金収入	1,883	1,910	1,644
	その他の収入	138	138	353
支出 (b)		37,892	38,688	38,216
	人件費	20,172	21,311	21,879
	本社管理経費	3,511	3,080	2,392
	その他の支出	14,209	14,297	13,945
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		1,556	793	1,580
自主事業収入 (d)		727	709	662
自主事業支出 (e)		628	635	661
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		99	74	1
全体収支 【(c)+(f)】		1,655	867	1,581
備考	利用料収入が前年に比べ13.9%減少しているのは、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設利用の自粛や3月は休所をしていたことが主な原因である。			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況について特段の問題はないため、「S」評価とする。

7 管理業務の履行状況

検査方法	指定管理者へのヒアリング等により検査を実施	
実施時期	令和2年9月	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として3月は休所したが、4月から2月までの利用者数は前年度を上回り、利用率と利用料収入はほぼ同じ状況であった。利用者の満足度調査では前年度に続き高い評価を得ることができた。また、施設の予約状況をパソコンやスマートフォンで閲覧できるよう改善するなど、利用者サービスの向上に努めた。自主事業の実施では25件の事業を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等を踏まえ、4件の事業が中止となった。その他、指定管理者として利用者や地域の団体など、皆様からのご意見や要望に耳を傾け管理運営に取り組んだ。

9 所管課意見

・前年度に続き、利用者満足度調査において「満足」と「やや満足」の回答が9割以上もあることは高く評価できる。今後も、利用者の要望等に応えるとともに、指定管理者の自主的な取り組みによる満足度の向上に期待する。
・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度に比べ、利用者数や利用料収入が減少し、施設専用利用率（夜間を除く）も目標値を達成することができなかった。今後は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえた施設の利用方法や自主事業の実施を検討し、利用者が安心して利用できる施設として、施設の安全面の確保に取り組んでいただきたい。

10 選考委員会意見

・前年度に比べ、4月～2月の利用者数が上回っていることや利用者の満足度が上がっていることは高く評価できる。
・施設予約システムについては、利用者の意見を踏まえ、施設の空き状況の確認だけでなく、利用申込みもできるように検討していただきたい。
・事件や事故防止のため、建物周辺における防犯カメラの設置を検討していただきたい。
・自主事業については、目標以上の件数を実施していただきたい。また、事業の質も意識しながら、利用者のニーズを満たす事業を実施し、参加者数の増加に努めていただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(80/100)

